６月４日調査結果（貞山運河→名取川コース）

【名取川】
広瀬川合流点付近から緊急河川敷道路へのアクセスを考慮し、昇降坂路等の対応が必要



【名取川】
広瀬川合流点から下流約０．５km及び約１．４km付近は水深が浅く、船外機が川底に接触



【共通】
・誰もがスムーズに航行可能なよう、航路図の整備が必要



実航行時の悪条件を想定し、平均潮位よりも低く、名取川も平水時の流量を下回っている状況のもとでの調査だったが、概ねネットワークの一つとして河川空間の有効性の確認ができた。一方でいくつかの課題も見られたことから、第2回調査も踏まえ、課題について、今後、対応を検討していく。

【名取川】
上流の浅瀬を考慮した場合の船着場として可能性の高い地点。

【貞山運河】
名取川合流部の閖上水門の幅が5mと狭く、船舶のすれ違いは不可能



【貞山運河】
増田川合流点、閖上水門付近で水深が浅く、船外機が川底に接触